



2021年11月5日

各 位

会 社 名 株式会社 ヤマックス
 代表者名 代表取締役社長 茂森 拓
 (JASDAQ・コード5285)
 問合せ先 取締役管理本部長 長岡 純生
 電 話 096-381-6411

2022年3月期第2四半期累計期間の業績予想と実績との差異に関するお知らせ

2021年5月7日付「2021年3月期決算短信」にて公表しました2022年3月期第2四半期累計期間(2021年4月1日～2021年9月30日)の業績予想数値と本日公表の実績値について、差異が生じたので下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2022年3月期第2四半期(累計)業績予想数値と実績値との差異(2021年4月1日～2021年9月30日)

(連結業績)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,500	120	120	70	14.59
今回実績(B)	6,947	302	303	181	37.84
増減額(B-A)	△552	182	183	111	
増減率(%)	△7.4	152.1	153.2	159.5	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2021年3月期第2四半期)	8,191	203	200	128	26.22

(個別業績)

	売 上 高	経 常 利 益	四 半 期 純 利 益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,000	200	160	33.34
今回実績(B)	5,565	304	239	49.97
増減額(B-A)	△434	104	79	
増減率(%)	△7.2	52.2	49.9	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2021年3月期第2四半期)	6,440	321	242	49.21

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

2. 差異の理由

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、収益認識基準の適用に伴い純額表示となった代理人取引(利益額のみを売上高に表示することとなった取引)の割合が予想を大きく上回ったことなどにより売上高は前回公表の予想数値を下回ったものの、利益面では、高付加価値品の売上割合が予想を上回ったことに加え、全体的なコスト削減への取り組みの効果が表れたことなどにより、前回公表いたしました予想数値を上回ることとなりました。

なお、通期の業績予想につきましては、現時点では前回公表いたしました予想値を据え置き、今後の市況や業績動向等を踏まえ修正が必要と判断した場合には速やかに開示することといたします。

また、期末配当予想につきましては、2021年5月7日付「2021年3月期決算短信」にて公表いたしました予想値の1株当たり20円に変更はありません。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて判断したものであり、今後の様々な要因の変化により実際の業績とは異なる可能性があります。

以 上